

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
人口1人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査（国土交通省）	5.17	5.15	m ²	↑
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	78.8	75.8	%	↑

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<ul style="list-style-type: none"> 公園・緑地・街路樹については、適正な維持管理を行いました。また、既存公園の改修を市民ニーズの把握に努め実施しました。流山グリーンチェーン戦略により、新たなみどりの創出に努めました。 公園や緑地、街路樹の維持管理については、管理区域を設定し樹木の剪定等を行うことでみどりの保全に努めました。またグリーンチェーン認定の取得率を向上させるため事業者へ丁寧で粘り強い指導を行いました。 みどりの保全・創出に向けた公園や街路樹の適正な維持管理やグリーンチェーン認定の取得率向上を目指していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園・緑地・街路樹等については、適正な維持管理を行い、市民が安全・快適に利用のできる良質なみどりを保全します。また、流山グリーンチェーン戦略により、住宅や店舗などにより多くのみどりを取り入れていただき、新たなみどりの創出に努めます。

みどりの保全 主管課：みどりの課、道路建設課 関連課：農業振興課

まちなか森づくり事業	街路樹の植栽や公共施設への植樹を行うとともに、市全体の環境価値を高めるため、「流山グリーンチェーン戦略」に基づいた緑化の啓発に努め、街なかのみどりの充実を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	16,501		15,618	2,967	6,000	0	6,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率（緑化面積／敷地面積×100%）（%）	-	-	12					
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> まちなか森づくりプロジェクトとして、南流山5丁目の坂川用水路跡地に植栽・植樹を行いました。また、十太夫、市道293号線一部の街路樹に、植栽を行いました。 流山市グリーンチェーン認定が10件あり、まちなかの緑化面積が4201m²増加しました。 今後も、計画的に植栽及び植樹を行い、街なかのみどりの充実を図りたい。 				<ul style="list-style-type: none"> 街路樹の植栽や公共施設への植樹を行います。 計画的に街路樹を植栽するとともに、グリーンチェーン戦略を推進し、まちなかのみどりを増やすことで、環境価値の向上に努めます。 既存街路樹の植栽を行います。流山おおたかの森周辺地区の植栽を行います。 				

良質なみどりの拠点保全事業	土地所有者から借り受けている市民の森を保全するため、用地（中野久木散策の森）を取得します。また、大畔の森の自然環境を保全し、自然に触れながら散策等をできるように、保全整備を行います。 令和2年度 用地取得（中野久木散策の森）、園路整備・樹木剪定等（大畔の森） 令和3年度 用地取得（中野久木散策の森） 令和4年度 用地取得（中野久木散策の森）							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	6,677		8,115	3,560	150,286	123,400	26,886
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
中野久木散策の森の用地取得面積（m ² ）	-	-	2,376	公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合（%）		75.8	71.7	73.0
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 中野久木散策の森の地権者と、用地取得に関する協議を行いました。 大畔の森内の倒木処理等の作業を行いました。 市民の森の地権者からの理解を得られるとともに、予定していた倒木処理等の作業も完了し、市内のみどりの保全と環境維持に寄与できたと考えます。 市民の森や借地公園の地権者と、良好な関係を築いていく必要があります。 ひきつづき、みどりの保全と環境維持に努めていく必要があります。 				<ul style="list-style-type: none"> みどりの保全を行うため、市内の重要なみどりを把握する必要があります。 引き続き市民の森の地権者と良好な関係を築きます。 市内の樹林地の規模や状況等の実態調査を行い「みどりのカルテ」の作成に着手します。 引き続き、中野久木散策の森の取得を行います。 大畔の森の自然に親しめる環境を整えるため、遊歩道などの整備を行います。 				

みどりを支える人づくり事業	みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	644		582	10,811	1,098	180	918
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
講習会の開催回数（回）	3	3	10	講習会への参加人数（人）		65	47	235
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 緑化に関する講習会を2回開催しました。 ながれやまオープンガーデンの支援を行いました。 コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、ボランティア講習会を中止したことで、予定していた緑化啓発が十分行えませんでした。 オープンガーデンによる地域の景観向上や交流人口の増加に寄与できたと考えます。 緑化に関する講習会は、ニーズの把握を行うとともに、開催回数や内容の充実を図ります。 オープンガーデンへの支援を引き続き行います。 				<ul style="list-style-type: none"> みどりの保全・創出・活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成が必要不可欠であります。 みどりの維持管理は、市民と協働で実施していく必要があります。 緑化に関する講習会を合計で10回開催するとともに、オープンガーデンの支援を行います。 みどりの活性化等に関する協議会（みどりの委員会）を設置します。 				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



みどりの創出 主管課：みどりの課、道路建設課 関連課：なし

新たな賑わい空間創出事業	土地区画整理事業の進捗に合わせ、また、地域のニーズを考慮し、公園及び緑地の整備・再整備事業を実施します。 令和2～4年度 土地区画整理地区内の公園・緑地整備、総合運動公園再整							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	60,376		9,451	8,966	139,696	107,300	32,396
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		75.8	71.7	73.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理地区内の公園及び緑地整備として、西平井・鯉ヶ崎地区2号緑地整備工事、鯉ヶ崎・思井地区1号街区公園整備工事等を行いました。 ・土地区画整理の進捗、地域のニーズに合わせて、緑地及び公園整備を行いました。 ・土地区画整理の進捗により、公園・緑地整備時期の変更があるため、土地区画整理事業者と密に協議を行うようにします。 				<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理地区内の公園・緑地整備、総合運動公園の再整備等を行っています。 ・土地区画整理事業の進捗に合わせて良好な住環境の提供が求められており、地域のニーズに合わせて公園施設整備を行うようにします。 ・土地区画整理地区内の緑地整備工事及び街区公園の委託、総合運動公園再整備委託及び再整備工事、南流山中央公園再整備委託を行います。 				

安心安全な公園づくり事業	既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行い利用者の安全性・利便性の向上を図ります。 令和2年度 トイレ改修(南流山3号公園、東部近隣公園)、都市公園遊具点検及び長寿命化計画策定委託、既存公園施設整備工事 令和3～4年度 公園遊具施設安全対策工事、既存公園施設整備工事							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
みどりの課	継続	64,303		56,431	16,501	120,071	15,800	104,271
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		75.8	71.7	73.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。既存公園の複合遊具新設・更新を行いました(おおたかの森北2号公園、三輪野山近隣公園)。 ・既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検結果を踏まえて、現場確認し、更新・補修を行いました。 				<ul style="list-style-type: none"> ・既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行っています。既存公園の複合遊具等の新設・更新を行います。 ・公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行うようにします。 ・既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検を行います。南流山3号公園及び東部近隣公園のトイレ改修を行います。公園施設長寿命化計画を策定します。 				

生物多様性の保全・回復 主管課：環境政策課 関連課：なし

生物多様性地域戦略推進事業	生物多様性ながれやま戦略(第二期)に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する啓発等を行います。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
環境政策課	継続	2,227		2,248	7,013	2,391	0	2,391
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				生物多様性啓発イベントの参加者数(人)		-	97	100
				市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合(%)		79	76	77
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<p>モニタリング調査を実施するとともに、グリーンウェイブ事業、まちなか森づくり事業により、市内公共施設等で植樹を行いました。</p> <p>また、市の鳥に関する啓発及び生物多様性に関する啓発・保全に関する事業として、生物多様性シンポジウム、グリーンフェスティバル及び市役所市民ギャラリーにおいてパネル展示等の啓発を行いました。</p> <p>評価としては、生物多様性ながれやま戦略(第二期)に基づき、概ねの事業展開ができました。</p>				<p>モニタリング調査を実施するとともに、グリーンウェイブ事業、まちなか森づくり事業により、市内公共施設で植樹を行います。</p> <p>市の鳥に関する啓発及び生物多様性に関する啓発・保全に関する事業として、オオタカパネル展等においてパネル展示を行います。</p> <p>課題としては、生物多様性地域戦略においては、50年の計画期間であることからモニタリング調査におけるモニタリング調査員の育成とともに重点地区・拠点を拡大したことに伴う各拠点における拠点同士のネットワークの構築が課題です。</p>				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	83.0	82.7	%	↑
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	42.5	40.3	%	↑
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	58.6	61.0	%	↑

令和元年度の取組みと評価_改善点	令和2年度の現状_課題_取組み
<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 良好な景観の形成に努めました。 流山市都市計画マスタープランを改定しました。 <p>(評価・改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 景観計画に基づき指導を行い、良好な景観形成を誘導しました。 広告物等についても、広告物条例に基づき適正な規制と啓発に努めました。 流山市都市計画マスタープランを令和2年4月1日に公表しました。 	<p>(現状と主要課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 良質な景観形成の促進に関し、取組みの実効性を高めていくため、市民・事業者及び行政がその責務により連携・協働した街並みを創出していく必要があります。 地域の実情に応じた土地利用を誘導するため、都市計画の見直しを行います。 <p>(取組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 良質な景観形成の推進に向けた景観シンポジウムを開催し、流山市景観計画の周知及び意見交換を行います。 引き続き、良質な広告物等の表示・設置の誘導を図ります。 屋外広告物と同様の効果目的を有する特定屋内広告物についても、今年度より施行します。 市内の都市計画について、区域区分や用途地域等の検討を行います。

つくばエクスプレス沿線整備の促進 主管課：都市計画課、まちづくり推進課 関連課：なし

運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理負担事業	県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	継続	603,091		705,742	631	482,632	459,400	23,232
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
面積ベース進捗率(%)	約38	約41	約46					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 千葉県が施行する、運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図りました。 令和元年度末の進捗率は、面積ベースで約41%となりました。 8月13日には、土地区画整理法の規定により事業計画の変更が告示されました。 都市計画道路3・3・28号中駒木線について、未開通となっていた東葛病院から宮園までの区間が3月30日から供用開始し、本路線は全線開通となりました 				<ul style="list-style-type: none"> 千葉県が施行する、運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図ります。 早期事業完了を目指し、引き続き千葉県と協力して地権者との合意形成を図っていきます。 				

木地区一体型特定土地区画整理負担事業	県との費用負担協定に基づき、木地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	継続	549,789		540,510	351	212,267	165,700	46,567
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
面積ベース進捗率(%)	約90	約98	約99					
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 千葉県が施行する、木地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図りました。 令和元年度末の進捗率は、面積ベースで約98%となりました。 一部未整備となっていた都市計画道路3・4・35号木流山線について、県道交差点から商業施設までの区間が11月に完成しました。 				<ul style="list-style-type: none"> 千葉県が施行する、木地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図ります。 木地区では、令和2年度末の工事概成を目指し、引き続き千葉県と協力して全地権者との合意形成を図ってまいります。 				

市街地のまちづくり 主管課：都市計画課、まちづくり推進課 関連課：なし

開発許可管理システム構築事業	紙ベースで管理している開発登録簿等の台帳を電子化し、統合型GISの流山市地図情報共有システムを用いて窓口業務及び開発審査等の効率的な運用を行います。 令和2年度電子化及び管理システム構築 令和3年度以降 保守点検							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
宅地課	新規	0		0	0	9,680	2,599	7,081
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
開発登録簿等の台帳の電子化率(%)	-	-	100	開発登録簿の写しの1件あたりの提供時間(分)		45	45	15
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
新規事業のため記載なし				<ul style="list-style-type: none"> 開発許可台帳は50年程度経過していることから、劣化が著しい状況です。電子化を図ることで開発情報の保全を行います。 電子化による開発情報等の検索時間の短縮を図ることで、迅速な窓口対応や市民サービスの向上とともに、職員負担の軽減を目指します。 				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



市街地のまちづくり 主管課：都市計画課、まちづくり推進課 関連課：なし

生産緑地に関する図書作成事業	指定から30年を迎える生産緑地について、所有者の意向に基づき、特定生産緑地として指定するための準備や手続きを行います。令和2年度 意向調査及び確認、現況確認 等 令和3年度 事前相談・本申請理、図書作成 等 令和4年度 図書作成、審議会、指定通知発送 等							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
都市計画課	新規	0		0	0	5,328	0	5,328
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
令和2年度新規事業のため実施なし。				<ul style="list-style-type: none"> 生産緑地地区に指定してから30年を迎える地区において、特定生産緑地地区に移行する手続きが必要となります。 生産緑地所有者に対し、特定生産緑地制度に関する事項について、わかりやすい説明を行い、円滑に手続きを進めます。 特定生産緑地の申請書類について、事前相談の期間を設け、本申請の際、受付業務を円滑に行うよう努めます。 				

都市計画見直し事業	地域の実情に応じた土地利用を誘導するため、区域区分、用途地域等の都市計画の変更を行います。令和2年度 現況確認、説明会、素案縦覧、公聴会 等 令和3年度 法定図書作成、法定縦覧、審議会 等							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
都市計画課	新規	0		0	0	19,000	0	19,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
令和2年度新規事業のため実施なし。				<ul style="list-style-type: none"> 流山市は住み心地の良いまちであると思う市民の割合 (%) 82.9 81.7 83.0 これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合 (%) 83.0 82.7 83.0 				
令和2年度新規事業のため実施なし。				<ul style="list-style-type: none"> 区域区分や用途地域等の現況確認や、説明会を実施します。 素案縦覧や公聴会を開催します。 				

景観形成の促進 主管課：都市計画課 関連課：みどりの課

景観形成推進事業	本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。また、良質なまちづくりの推進に向けた景観シンポジウムを隔年で開催し、「流山市景観計画」の周知と意見交換を行います。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
都市計画課	継続	144		108	9,973	444	0	444
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
景観条例第11条に基づく事前協議件数(件)	379	505	450	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合 (%)		75.9	74.2	77.0
景観賞の応募件数(件)	5	-	10	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合 (%)		58.7	61.0	62.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 景観条例に基づき、適切に指導を行いました。 景観計画及び景観計画ガイドラインを活用し、市民及び事業者に対し、引き続き良好な景観形成の誘導と啓発を推進します。 				<ul style="list-style-type: none"> 景観条例に基づき、景観計画に適合するよう適切に指導を行います。 景観シンポジウムを開催し、市民等が景観を形成する主体として、自らの果たすべき役割について理解を深め、興味を抱けるよう啓発を図ります。 良好な景観の形成に寄与し、貢献した事業者等を景観賞として表彰することで、市民意識の高揚を図ります。 				

広告物等推進事業	良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害を防止するため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。令和2年度は、特定屋内広告物の規定を施行します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
都市計画課	継続	4,458		3,959	9,327	4,237	2,899	1,338
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数(件)	-	87	90	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合 (%)		75.9	74.2	77.0
屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数(件)	-	1,383	1,200	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合 (%)		58.7	61.0	62.0
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 広告物等を掲出する広告主及び事業者に対し、条例に基づく許可等に対する手続きを通じて、適切に指導を行いました。 景観計画及び広告物条例ルールブックを活用し、広告主及び事業者等に対し、良好な景観形成の誘導と啓発を図る必要があります。 				<ul style="list-style-type: none"> 引き続き広告物等を掲出する広告主及び事業者に対し、広告物が無秩序に掲出されないよう広告物条例の基準に適合するよう適切に指導を行い、良好な景観の形成を目指します。 特定屋内広告物が施行されることから、屋外広告物を含めた制限内容等について周知活動を行います。 				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



景観形成の促進

主管課：都市計画課

関連課：みどりの課

流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業		・流山おおたかの森駅周辺の南口都市広場や市野谷水鳥の池において、良質な空間を形成し、更なる賑わいを創出します。 ・令和2年度：南口都市広場（インターロッキング、植栽、LED照明）、市野谷水鳥の池（ローポールライト）							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
まちづくり推進課	拡充	0		0	0	270,000	239,000	31,000	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
工事進捗率 (%)		-	-	100					
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
令和2年度新規事業のため実施なし。					・流山おおたかの森駅周辺は、都市計画マスタープランで拠点に位置付け、回遊性と賑わいを創出するウォークアブルなまちづくりを推進することとしています。 ・一方で、南口都市広場が供用開始から15年が経過し一部老朽化が進んでいるなど、改修が必要な状況です。 ・南口都市広場の改修により利用者の利便性や快適性を高めるとともに、流山おおたかの森駅周辺の良質な交流空間の形成を図り、賑わいを創出します。 ・取組内容としては、南口都市広場の改修（インターロッキング、植栽、LED照明）及び市野谷水鳥の池に照明の設置を行います。				

主管部局 土木部

施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	64.6	65.6	%	↑
都市計画道路の整備率	道路建設課	70.6	72.4	%	↑

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進しました。 交通の集中する交差点対策の推進を図りました。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民説明会にて計画の説明を行い周知を図りました。 工事着手にむけ、関係機関との協議を進めました。 <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿道住民に向けて工程計画等に係る説明会を開き、円滑な工事の進捗に努めます。 	<p>【現状と主要課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口増加等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。 歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。 <p>【取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進します。 交通の集中する交差点対策の推進を図ります。 自転車走行空間の整備に向け、自転車ネットワーク計画を策定します。

円滑に移動できる道路整備 主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課 関連課：なし

新設小学校建設関連道路整備事業	大畔地区で進めている新設小学校建設に関連し、市道308号線の延長約300m区間において、道路の拡幅改良及び新設を行います。 令和2年度 用地取得、工事								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路建設課	継続	187,828		74,091	1,253		80,309	75,875	4,434
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		19	57	100	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> 道路整備に伴う用地取得について、1名の地権者と契約を締結しました。 将来の通学路となる道路整備のうち254mが完成しました。 				<ul style="list-style-type: none"> 道路整備に伴う用地交渉は、誠意を持って協議します。 新設小学校の開校に向け計画通りに事業が完了するように、安全かつ円滑に道路工事を進めます。 					

名都借跨線橋道路拡幅改良事業	市道261号線の名都借跨線橋を含む、延長約325m区間において、歩道橋新設及び跨線橋並びに道路の拡幅改良を行います。 令和2年度 家屋調査、JR施行委託、工事 令和3年度 JR施行委託 令和4年度 JR施行委託								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路建設課	継続	282,732		34,820	2,967		331,343	309,870	21,473
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		40	41	54	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> 「名都借跨線橋道路拡幅改良事業 事業期間延伸に係る説明会」を令和元年10月に実施しました。 令和元年12月にJR東日本と本体工事の施行協定を締結しました。 跨線人道橋の製作工事については、JR東日本との協議・調整に不測の日数を要したことから、令和2年度に繰越しました。 				<ul style="list-style-type: none"> JR東日本と年度協定を締結し、令和5年度の事業完了を目指し、道路拡幅改良工事を進めます。 本格的な工事着手にあたり、沿道住民に向けて工程計画等に係る説明会を開き、円滑な工事の進捗に努めます。 					

自転車ネットワーク整備事業	自転車ネットワーク計画を策定し、自転車通行空間を整備することにより、歩行者と自転車の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。 令和2年度 計画策定								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路建設課	新規	0		0	0		5,000	0	5,000
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
				整備率(%) = 整備済延長(m) ÷ 全体延長(m) × 100		-	-	0	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
新規事業のため記載なし				<ul style="list-style-type: none"> 市民参加条例に基づきパブリックコメントを実施し、市民への積極的な情報提供及び計画の必要性、基本方針、計画目標の共有を図ります。 R3年度からの整備着手を可能にするため、R2年度内に自転車ネットワーク計画を策定します。 					

都市計画道路3・4・9号南流山名都借線道路改良事業	都市計画道路3・4・9号南流山名都借線の、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業区域界から富士見橋間における、延長約400m区間において、道路の拡幅改良を行います。 令和2年度 予備設計 令和3年度 測量、物件調査 令和4年度 用地取得								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路建設課	継続	0		0	0		7,843	0	7,843
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		-	-	1	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み					
R2年度から事業着手のため記載なし				<ul style="list-style-type: none"> 隣接する運動公園周辺地区区画整理事業の整備計画に合わせた事業進捗を図るため、都市計画事業認可を取得します。 事業説明会を開催し、地元住民及び関係地権者への周知を図ります。 					

主管部局 土木部

施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



安全で快適な道路環境の確保

主管課：道路建設課、道路管理課

関連課：なし

道路維持補修事業		道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
道路管理課	継続	241,000		238,000	16,480	260,000	127,600	132,400
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
道路舗装補修延長 (m)	2,507	2,627	2,800	情報処理件数 (件)		365	344	340
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 道路の舗装等が劣化している16路線の道路補修工事を実施しました。 また、区画道路の舗装維持管理計画を策定しました。 各工事において、大きく工期が遅延することなく実施することができました。 より一層の早期発注に努め、施工時期の平準化を図ります。 				<ul style="list-style-type: none"> 劣化の程度や緊急性等を考慮して、総合的に優先順位を判断して補修工事を実施しています。 近年の交通量増加に伴う、舗装の劣化進行速度に変化がないか注視する必要があります。 幹線・補助幹線道路の路面性状調査(定期点検)を実施し、現状把握とデータの蓄積を図ります。 				

主管部局 土木部

施策の目的 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課）	15.2	15.5	km	↑
水害による住家被害の棟数	過去3年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	棟	→

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
<p>【取組内容】 市内に設置された水位計を適切に運用し、的確な水防活動を実施しました。また、和田堀都市下水路新樋管築造工事を完成させました。その他、河川施設、水路等が適切な機能を維持できるように努めました。</p> <p>【評価】 水害による被害の発生を防止しました。また、河川施設、水路等に関する事故等も発生しませんでした。</p> <p>【改善点】 施設の老朽化に伴い、施設の修繕が必要となる危険箇所を事前に把握する取り組みが必要です。</p>	<p>【現状】 台風や局地的大雨時に大きな被害は発生していませんが、一時的な道路冠水等が発生しています。</p> <p>【課題】 水防パトロールや市民の皆様からの情報提供を基に、対策が必要な箇所を的確に把握し、解消するための対策工事等を実施する必要があります。</p> <p>【取組内容】 樋管閉鎖時の排水対策として、排水ポンプの増設を行い、大雨後の水位上昇に備えます。また、浸水被害が発生している地域の排水対策工事を計画的に実施していきます。</p>

雨水排水施設の整備 主管課：河川課、上下水道局（下水） 関連課：なし

地区内雨水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
下水道建設課	継続	382,000	233,882	7,013	119,000	105,600	13,400	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の整備面積（ha）	1.9	0.7	0.3					
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
令和元年度は整備予定1.3haのうち0.7haが発注済みとなり、約5割が完成しています。残り約5割は繰越事業として整備を進めていきます。区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。				令和2年度は0.3haの整備を行います。区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。				

大堀川1号雨水幹線整備事業	美田、東初石3・4丁目の浸水被害の解消を図るため、公共下水道計画に基づき大堀川1号雨水幹線を整備します。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
下水道建設課	継続	432,335	419,300	7,013	0	0	0	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
雨水幹線整備率（%）	33	100	-					
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度からの継続事業として大堀川1号雨水幹線工事を実施し、完成しました。 工事箇所がグリーンルートと重なっていたが、施工方法を工夫し影響無く完成させました。 1年を超える工事であったため、工事期間の短縮が改善点です。 				前年度で終了したため記載なし				

雨水排水施設整備事業	浸水被害が発生している、又は恐れのある地域に、雨水排水施設の整備を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 排水管整備（野々下5丁目）、新川承水路基本設計 令和3年度 排水管整備 令和4年度 排水管整備 							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
河川課	継続	55,990	2,662	2,374	22,320	8,500	13,820	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）		0	0	0
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 新設学校建設に伴う雨水排水施設整備を行うため設計委託を行いました。 当該工事は、道路整備との工程調整の結果、令和2年度に実施します。 整備工事を行うには、国庫交付金などの財源確保が重要です。 				<ul style="list-style-type: none"> 新設学校の開校に向け、雨水排水施設の整備を行います。 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。 道路冠水対策として、野々下5丁目地先において雨水排水施設の整備を行います。 				

三輪野山地区総合治水対策事業	和田堀都市下水路に設置した水位計を適切に運用し、迅速で的確な水防活動を行います。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
河川課	継続	12,606	77,483	1,187	902	0	902	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				三輪野山地区における内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）		0	0	0
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
・和田堀都市下水路と一級河川今上落しを接続する新樋管築造工事を実施し、完成しました。				<ul style="list-style-type: none"> 市施工の新樋管工事が完成しました。 千葉県施工による和田堀都市下水路の切回し工事が、早急に完成されるよう協議が必要です。 千葉県と密な情報交換を行います。 				

主管部局 土木部 施策の目的 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



雨水排水施設の整備 主管課：河川課、上下水道局（下水） 関連課：なし

洪水ハザードマップ作成事業	平成27年に改正された水防法に適合した洪水ハザードマップを作成し、市民への周知と被害軽減に努めます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
河川課	継続	0		0	0	6,402	3,000	3,402
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				洪水ハザードマップの配布数(部)		0	0	80,000
R1年度の実績と評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
実施なし。				<ul style="list-style-type: none"> ・既往最大雨量による浸水想定区域図を記載した、洪水ハザードマップを公表しています。 ・平成27年の水防法改正により、想定すべき雨量が変更となりました。 ・想定最大規模による浸水想定区域図を記載した、洪水ハザードマップに更新します。 				

河川環境の整備 主管課：河川課 関連課：なし

河川等維持補修事業	河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 ・令和2年度 諏訪下排水ポンプ整備 水路改修工事(野々下3丁目)、水路蓋掛け工事(鰭ヶ崎)、新川承水路護岸補修工事 等 ・令和3年度 修繕工事 等 ・令和4年度 修繕工事 等							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
河川課	継続	20,765		20,716	2,374	67,133	32,700	34,433
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
河川施設の維持補修に関する工事件数(件)	1	1	4	内水氾濫による床上浸水の棟数(棟)		0	0	0
				憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合(%)		76.2	72.6	80.0
R1年度の実績と評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> ・鰭ヶ崎における水路蓋掛け工事を実施しました。 ・小破修繕工事を行い、市内の水路等の修繕を行いました。 ・修繕が必要となる危険箇所を事前に把握することが必要です。 				<ul style="list-style-type: none"> ・大雨により利根運河の水位が上昇し、諏訪下排水樋管を閉鎖すると、周辺道路冠水の恐れがあります。 ・老朽化した水路等が市内に散見されます。 ・諏訪下排水樋管閉鎖時に排水できる、排水ポンプの整備が必要です。 ・老朽化した水路の修繕が必要です。 ・排水ポンプの増設を行います。 ・水路改修工事及び小破修繕工事を実施します。 				

主管部局 上下水道局 施策の目的 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	90.7	89.1	%	↑
公共下水道普及率	処理区域内人口÷行政区域内人口×100（下水道建設課）	89.3	90.8	%	↑

令和元年度（2019年度）の取組みと評価 改善点	令和2年度（2020年度）の現状 課題 取組み
<ul style="list-style-type: none"> 平成28年4月に策定した「水道事業経営戦略」は、策定後、人口推計値が大幅に変更となったことから、事業の収支計画を見直し、さらなる効率的な事業経営を可能とするため改定しました。また、平成30年4月に策定した「下水道事業経営戦略」についても、最新の人口推計をもとに、下水道使用料収入を見直すとともに、下水道事業経営の更なる健全化のため現状の把握、分析及び将来予測を行い、「下水道事業経営戦略」を改訂しました。 水道事業及び下水道事業を取り巻く環境が変化していることを踏まえ、最新の人口推計値をもとに水量や料金収入の見直しを修正し、将来の経営状況の分析を適正に行うことができました。 水道事業は、新規加入者からの給水申込納付金が見込みを上回る収入規模となるなど、想定以上の収入増加により資金に流動性があることから、平成30年度から令和2年度に下水道事業へ合計20億円を出資することとしました。 下水道事業は、下水道未整備地区の整備や下水道への未接続世帯に対する普及・啓発に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度で終了する「水道事業基本計画」は、10年先を目標年度とする新たな基本計画を策定します。 令和2年度から流域下水道維持管理負担金が増額されることから、財政計画を見直す必要があります。 水道事業は、基幹管路の耐震化を優先的に推進するとともに、老朽化した配水支管は応急給水拠点など重要度の高い路線から耐震管に更新することにより、災害対応能力の向上に努めます。 下水道事業は、平成28年度に汚水適正処理構想を見直したことから、令和6年度末に新規の整備が完了する予定です。今後、ストックマネジメント計画により、老朽化の進行状況を考慮し、施設の点検・調査、修繕・改築を実施します。

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局 関連課：なし

配水管拡張事業		令和2年度の事業完了に向けて、江戸川沿いの北部未給水地区の配水管拡張工事を実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
水道工務課	継続	97,009		28,238	1,640		71,280	0	71,280
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
配水管布設延長 (m)	1,260.0	979.5	1,261.0	給水普及率 (%)		99.56	99.59	99.61	
R1年度（2019年度）の取組みと評価 改善点				R2年度（2020年度）の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> 中野久木地域においては594m、前ヶ崎地域においては69mの工事が完了しました。 平方地域において、647mの区間の工事に着手しており、完成は令和2年6月末の予定です。 				<ul style="list-style-type: none"> 江戸川沿いの北部未給水地区1,261mの区間において、配水管拡張工事を行い、令和2年度の事業完了を目指します。 					

水道料金等徴収業務委託事業		水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者に委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
経營業務課	継続	151,859		151,859	12,279		153,252	153,252	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
給水契約件数 (件)	79,451	82,278	83,000	不納欠損処理件数：水道料金 (件)		212	293	200	
下水道契約件数 (件)	68,581	71,938	73,000	不納欠損処理件数：下水道使用料 (件)		158	215	150	
R1年度（2019年度）の取組みと評価 改善点				R2年度（2020年度）の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> 上水道使用者が使用した水道水に係る水道料金及び公共下水道使用者が使用した下水道使用料金の適正な徴収に努めました。 上下水道料金の徴収等を包括委託してる民間業者と連携を密にし、不納欠損の減少を図った効果により、不納欠損処理件数が減少しました。 常習滞納者に対し誓約不履行による給水停止執行を継続するとともに、新たな料金未納者への給水停止執行処分を行いました。 				<ul style="list-style-type: none"> 人口の増加や公共下水道の供用開始区域の拡大により、上下水道使用者が増えており、給水契約件数や公共下水道使用者は毎年増加しています。 市外へ転居した滞納者への督促、催告はしているが、収納までに至る件数は少なく、いかにして徴収するか課題です。 委託先との連絡調整を密にし、納入通知書での支払いから、口座振替やクレジットによる支払いを促進させます。 					

主要配水管等耐震化事業		主要な配水管等を耐震管へ計画的に更新していきます。 令和2年度 配水管等耐震化（北部ルート）							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
水道工務課	継続	282,205		35,343	85,990		357,404	0	357,404
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
整備延長 (m)	783.2	1,121.6	2,644	耐震化適合率 (%)		47.2	48.2	50.2	
R1年度（2019年度）の取組みと評価 改善点				R2年度（2020年度）の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> おおたかの森浄水場と江戸川台浄水場を結ぶルートL=390mの工事が完成しました。 都市計画道路3・2・25下花輪駒木線のルートL=351mの区間において工事が完成しました。 				<ul style="list-style-type: none"> 主要な配水管等を耐震管へ計画的に更新していきます。 おおたかの森浄水場と江戸川台浄水場を結ぶルート1,243mの工事を行い、令和2年度完成を目指します。 都市計画道路3・2・25下花輪駒木線のルート1,401mの工事を行います。 					

老朽配水管等耐震化事業		老朽化した配水管等を耐震管へ計画的に更新していきます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
水道工務課	継続	234,212		51,683	6,326		261,702	0	261,702
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
整備延長 (m)	1,316.5	2,415.6	4,297.0	耐震管適合率 (%)		59.5	59.7	61.0	
				漏水発生件数 (件)		361	288	361	
R1年度（2019年度）の取組みと評価 改善点				R2年度（2020年度）の現状 課題 取組み					
<ul style="list-style-type: none"> 北部地域においては、183mの区間で工事が完成し、残り1,571mの区間は、令和2年9月末までの完成予定です。 中部地域は、305mの区間で工事が完成し、残り696mの区間は、令和2年7月末までに完成予定です。 南部地域は、371mの区間で工事が完成し、残り569mの区間は、令和2年6月末までに完成予定です。 東部地域は、45mの区間の工事が完成し、残り933mの区間は、8月末までに完成予定です。 				<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した配水管等を耐震管へ計画的に更新していきます。 北部地域1,415m、中部地域966m、南部地域916m、東部地域1,000m、合計4,297mの工事を行います。 					

主管部局 上下水道局 施策の目的 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局 関連課：なし

TX沿線整備地区配水管拡張事業		つくばエクスプレス沿線土地区画整理事業の進捗に合わせ、配水管拡張事業を実施します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
水道工務課	継続	262,188		125,620	30,460	128,605	0	128,605
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
配水管布設延長 (m)	11,124.6	5,618.4	4,270.0	整備率 (%)		71.2	74.7	76.5
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
・土地区画整理事業との整合を図り、配水管拡張工事を4,308m実施しています。				・土地区画整理事業の進捗に整合した配水管拡張工事4,270mを実施します。				

計画的な下水道事業の推進 主管課：上下水道局 関連課：なし

江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業		既成市街地における良好な生活環境を提供するため、西深井、向小金3丁目、美原2・3丁目、おおたかの森西四丁目、長崎1丁目地先の下水道を整備します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
下水道建設課	継続	809,204		326,645	21,039	938,059	422,880	515,179
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の整備面積 (ha)	18.47	21.74	17.08	公共下水道普及率 (%)		89.3	90.5	91.7
各年度の整備延長 (m)	3,361	3,811	5,719	公共下水道水洗化率 (%)		91.7	92.4	93.1
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 西深井、美原3,4丁目、向小金2,3,4丁目、おおたかの森南一丁目、前ヶ崎、名都借地先の約27.3haを整備しました。 計画から施工まで、効果的に投資を行い、経営を支える良質な下水道資源としました。 汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> 西深井、美原2丁目、向小金3丁目、長崎1丁目、おおたかの森西四丁目の約17haを整備します。 汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行うため、業務量が増大しています。 業務を効率化し、公共下水道の整備を推進していきます。 				

手賀沼流域関連公共下水道整備事業		既成市街地における良好な生活環境を提供するため、おおたかの森東四丁目、駒木地先の下水道を整備します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
下水道建設課	継続	141,460		44,712	10,520	217,157	83,000	134,157
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の整備面積 (ha)	5.4	1.22	3.28	公共下水道普及率 (%)		89.4	92.0	94.6
各年度の整備延長 (m)	1,822	365	1,381	公共下水道水洗化率 (%)		94.1	95.9	97.7
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 駒木地先の約3.2haを整備しました。 計画から施工まで、効果的に投資を行い、経営を支える良質な下水道資源としました。 汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行います。 				<ul style="list-style-type: none"> おおたかの森東四丁目、駒木地先の約3haを整備します。 汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行うため、業務量が増大しています。 業務を効率化し、公共下水道の整備を推進していきます。 				

区内汚水整備事業		運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、汚水管を整備します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
下水道建設課	継続	211,000		100,065	9,818	68,000	54,500	13,500
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の整備面積 (ha)	24.6	5.0	7.3	下水道整備率 (%)		71.1	72.1	73.3
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度整備予定(19haを10haに変更)のうち9haが発注済みとなり、約6割が完成しています。残り4割は繰越事業として整備を進めていきます。 区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。 				<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度も土地区画整理事業の進捗に合わせ、区内約7haの整備を行います。 区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。 運動公園周辺地区全体面積232.1haのうち、86.5haが整備完了しています。 				

合併浄化槽事業		合併浄化槽計画区域について、合併浄化槽の普及を図ります。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
下水道建設課	新規	9,562		12,753	7,013	10,230	6,700	3,530
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
各年度の設置戸数 (戸)	14	15	14	合併浄化槽普及率 (%)		-	-	-
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 環境政策課で行っていた合併浄化槽交付金事業について、下水道建設課へ移行となりました。 				<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に合併浄化槽計画区域についての現況調査を行い、今後の合併浄化槽の普及拡大に務めていきます。 				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	75.0	73.1	%	↑
市内鉄道駅の1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 ※数値は2017(H29)年度、2018(H30)年度のもの	175,574(※)	180,380(※)	人	↑
流山ぐりーんバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	2,499	2,736	人	↑

令和元年度の取組みと評価_改善点	令和2年度の現状_課題_取組み
<p>【広域交通ネットワークの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道の充実のため、鉄道事業者に対して、要望書等の提出により、働きかけを行いました。 初石駅施設整備について、基本調査及び基本設計を行いました。 <p>【地域公共交通ネットワークの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 流山ぐりーんバスについて、高齢者割引制度を導入し、高齢者の移動手段の確保と、流山ぐりーんバスの利用促進に努めました。 バス事業者に対して要望書を提出し、空港連絡バス等の充実を図りました。 	<p>【広域交通ネットワークの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> つくばエクスプレスについては、車両編成の8両化や東京駅延伸等の実現に向け、様々な機会を通じて関係各方面への働きかけを行います。 東武野田線初石駅の利便性の向上を図るため、自由通路、橋上駅舎及び駅前広場の設計業務を進めます。 <p>【地域公共交通ネットワークの充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするため、地域公共交通網形成計画の策定を行います。 地域公共交通の充実に大きな役割を持つバス交通である流山ぐりーんバスについては、利便性の向上に努めます。

広域交通ネットワークの充実 主管課：都市計画課 関連課：なし

TX東京駅延伸等促進事業		つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	継続	0		0	2,104	0	0	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
TX沿線都市での会議等の開催回数(件)	6	5	6	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		69	71	73
				つくばエクスプレス線の駅の1日平均乗車人員(人)		370,237	386,391	-
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 令和元年6月27日に行われた首都圏新都市鉄道株式会社の株主総会終了後において、沿線9都市から、首都圏新都市鉄道株式会社に対して「東京駅延伸等にかかる要望書」を提出しました。 				<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、沿線区市と共に、つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。 				

初石駅施設整備事業		東武野田線初石駅の駅東側からのアクセスを向上するため、令和5年度供用開始に向け、橋上駅舎、自由通路及び駅前広場を整備します。令和2年度～令和3年度 基本設計、実施設計 令和4年度～令和5年度 本工事						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	継続	14,780		8,573	5,603	52,348	22,295	30,053
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
事業進捗率(事業費ベース：%)	0	0.43	3.57	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		69	71	73
				初石駅の1日平均乗降人員(人)		18,741	18,653	-
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 平成31年4月1日付けで初石駅施設整備事業基本調査業務委託契約を締結し、委託業務を進め、初石駅施設整備に係る市の整備方針を策定しました。 令和元年12月24日付けで初石駅施設整備事業基本設計業務委託契約を締結し、自由通路、駅舎及び駅前広場の基本設計を進めています。 令和2年3月14日に予定していた意見交換会が延期となったことを踏まえ、今後、改めて意見交換会を開催し、周辺住民や駅利用者の声を聞いていく必要があります。 				<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に引き続き、自由通路、駅舎及び駅前広場の基本設計を進めていき、基本設計が完了次第、実施設計に着手していきます。 周辺住民や駅利用者に対し、意見交換会を実施します。 鉄道事業者や関係機関との協議を進めていきます。 				

初石駅施設整備基金積立事業		東武野田線初石駅の橋上駅舎及び自由通路の整備に必要な財源を計画的に積立てます。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	新規	3,009		31,358	70	0	0	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
				目標に対する基金積立率(%)		33	44	44
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 初石駅施設整備基金として、31,358千円を積み立てました。 				<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、寄附金及び利子相当額について、計画的に積み立てます。 一般財源からの積み立ては、財政調整課と協議をしながら実施します。 また、HPなどを通じ、市民等に対して情報提供をしていきます。 				

地域公共交通ネットワークの充実 主管課：都市計画課、道路管理課 関連課：なし

地域公共交通網形成事業		地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにし、持続可能な公共交通網を形成するため、地域公共交通網形成計画を策定します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	新規	0		0	0	10,465	5,000	5,465
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
地域公共交通活性化協議会の開催回数(回)	0	0	4	公共交通に満足している市民の割合(%)		75	74	76
R1年度の取組みと評価_改善点				R2年度の現状_課題_取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 新規事業のため記載なし 				<ul style="list-style-type: none"> 人口増加及び高齢化に伴い公共交通への期待が高まってきており、また、公共交通に関する要望のうち、特にバス交通に関する市民の要望は多様化しており、様々な要望が出てきています。 地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするため、地域公共交通網形成計画の策定を行い、地域に適した公共交通施策を検討します。 計画策定にあたっては、地域公共交通活性化協議会を開催し、市民や関係機関と協議します。 				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



地域公共交通ネットワークの充実

主管課：都市計画課、道路管理課

関連課：なし

ぐりーんバス運行事業		市内交通不便地域の解消を目的とし、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。						
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
まちづくり推進課	継続	77,385		80,656	8,065	83,407	0	83,407
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標	H30実績	R1実績	R2目標
利用促進啓発活動回数（お散歩マップ・自治会回覧）（回）		3	2	-	流山ぐりーんバスの年間利用者数（人）	909,798	914,484	-
					収支率全ルート平均（%）	68.7	58.8	-
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み			
<ul style="list-style-type: none"> 流山ぐりーんバス高齢者割引制度の導入しました。 令和元年7月26日、12月20日付けで、沿線自治会に対し、文書配布により流山ぐりーんバスのPRを行いました。 車内へのイベント情報の掲出を随時行っています。 					<ul style="list-style-type: none"> 運行経費の増加、バス乗務員の不足、超高齢化社会の到来に伴う高齢者の足の確保、通勤・通学需要の減少等が課題です。 利用促進については、新型コロナウイルス感染の影響と状況を見きわめたうえで、対応を検討していきます。 バス乗務員の不足については、必要に応じて、バス事業者に要望してまいります。 高齢者の足の確保、通勤・通学需要の減少等については、ぐりーんバスの利用状況や需要予測を行い、必要に応じてルート変更等に努めてまいります。 			

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画（建築住宅課）※1月1日時点	83.6	84.6	%	↑
住宅の空き家率	空き家総数のうち、一時居住用や販売用を除いた「その他の住宅」の占める割合（総務省「住宅・土地統計調査」）※1：2013(H25)年度 ※2：2018(H30)年度	2.7(※1)	3.2(※2)	%	↓

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の実績 課題 取組み
<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民の生活環境に深刻な影響が懸念される、管理不十分な空き家の改善に努めています。 空き家対策を効果的に実施するため、管理不十分な空き家の実態を把握する「空家実態調査」に取り組みました。 ライフステージに応じた住み替えを支援するため、相談会並びにセミナーを開催しました。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家実態調査により、市内の空き家の実態を把握することで、早期に改善指導が行えるとともに、地域にあった「空家等対策計画」を策定することができます。 住み替え支援相談会では、専門家からなる支援組織が、住み替えに関する各種相談に対応するもので、市が取り組んでいるという安心感を与え、気軽に相談が行えるものです。 <p>(改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> シニア世代と子育て世代の住み替えのマッチングが促進できるよう、「住み替え住宅バンク」の登録、普及に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 空家実態調査結果を取りまとめ、「協議会」の立ち上げ並びに「空家等対策計画」の策定に取り組みます。 住み替え支援制度の周知を図り、一人でも多くの市民の住み替えニーズに応えるとともに、「住み替え住宅バンク」の登録、普及に努めます。

住生活の安定と向上 主管課：建築住宅課、宅地課、高齢者支援課、 関連課：なし 障害者支援課

市営住宅整備事業	安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコストの縮減を図ります。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
建築住宅課	継続	29,796		18,183	2,244		9,361	9,361	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
市営住宅管理戸数(戸)	449	449	449						
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
<p>(取組内容)</p> <p>平成26年に策定した、流山市公営住宅長寿命化計画に基づき、昭和63年度から平成元年度にかけて建設した若宮団地の屋外給水管の更新工事を実施しました。</p> <p>(評価)</p> <p>既設の給水管から耐候性に優れた配管に更新したことで、安全性の確保と長寿命化を図ることができた。また、配管方法を工夫し維持管理の容易性を確保しました。</p> <p>(改善点)</p> <p>建物劣化状況を確認し、必要な改善工事を実施することとした。</p>				<p>既存住宅ストックの有効活用を図るため、長寿命化計画に基づき、昭和60年に竣工した柳田団地1号棟の屋上防水改修工事を実施します。</p>					

空き家対策の推進 主管課：建築住宅課 関連課：なし

空き家対策事業	管理されていない空家の解消を推進するため、空家の実態調査の結果を踏まえ、条例や法律に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空家対策を効果的に実施するため計画的に取り組みます。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
建築住宅課	継続	0		0	70		0	0	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
空き家問題に関する通報件数(件)	68	62	-	空き家に対する改善指導件数(件)		44	28	-	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理不十分な空き家の実態を把握するため、既成市街地にある94自治会エリアにおいて、「空家実態調査」に取り組みました。 市民から62件の空き家の情報をいただき、管理不十分な空き家28件に対し改善指導を行い、6件が是正されました。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 空家実態調査により、市内の空き家の実態を把握でき、早期に改善指導が行えるとともに、地域にあった「空家等対策計画」を策定することができます。 <p>(改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> 通学路に面して管理不十分な空き家が確認された場合は、学校側に周知し、情報を共有します。 				<p>空家実態調査の結果を踏まえ、「協議会」の立ち上げ並びに「空家等対策計画」の策定に取り組みます。</p>					

高齢者住み替え支援相談事業	高齢者が安心して住み替えができるようにするとともに、子育て世代の市内移住の支援を図るため、相談会の開催やセミナーを開催します。								
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)		R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
建築住宅課	継続	183		0	140		46	46	0
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標	
住み替え相談会開催回数	6	4	-	住み替え相談会参加組数(組)		14	14	-	
				住み替え相談の成立件数(件)		1	1	-	
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み					
<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住み替え相談会を4回開催し、14組15名の方が参加しました。 支援組織による「終活に向けた家族信託」をテーマにセミナーを開催し、4組5名の方が参加しました。 <p>(評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな空き家の発生の予防・抑制につながり、空家対策として有効です。 <p>(改善点)</p> <ul style="list-style-type: none"> シニア世代と子育て世代をマッチングする「住み替え住宅バンク」の登録の普及、啓発に努めます。 				<ul style="list-style-type: none"> 本事業の周知を図り、一人でも多くの市民の住み替えニーズに応えていきます。 「住み替え住宅バンク」の周知を図り、シニア世代と子育て世代のマッチングによる住み替えを促進します。 					

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 環境部 施策の目的 地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
二酸化炭素排出量の基準年度比	平成19（2007）年度の排出量を100とした場合の指数（環境政策課） ※（値は2016(H28)年度、2017(H29)年度の民生家庭、民生業務もの）	111 140(※)	122 142(※)	t-CO2	↓
身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	「どちらかといえば不満」「不満」と回答した市民の割合（市民意識調査）	26.1	取得なし	%	↓

令和元年度の取組みと評価 改善点	令和2年度の現状 課題 取組み
地球温暖化対策の推進のため、住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置の促進、市民が取り組める地球温暖化対策の普及啓発、みどりの保全による二酸化炭素吸収源対策を行いました。R1年度は地球温暖化対策実行計画や生物多様性なごれやま戦略に沿った取組を推進できましたが、地球温暖化対策については国際動向の影響を大きく受けるため、本市の制度についても情勢に応じた見直しを図る必要があると認識しています。	国の温室効果ガス削減目標等を踏まえた施策の見直しを検討します。またR2年度は、地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改正を行います。市役所が率先して地球温暖化対策を実行し、市民や事業者へ波及することで市域全体の排出量を削減できるよう努めます。また、みどりの保全についても、地球温暖化対策実行計画との整合を図り、地球温暖化対策と生物多様性保全のいずれにも効果がある緑の保全・回復を行えるよう、検討を進めています。

地球温暖化対策の推進 主管課：環境政策課 関連課：みどりの課

地球温暖化対策事業	地球温暖化の原因である二酸化炭素排出量削減を目的とします。市民への環境意識啓発、家庭内エネルギー利用の最適化、自治会や学校への緑のカーテンの普及促進を図ります。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
環境政策課	継続	11,200	10,281	14,026	14,414	4,900	9,514	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数（件）	119	140	145	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量（t-CO2）		277.39	241.54	277.80
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発、電気自動車リース等の事業を行いました。補助事業については、太陽光発電の買取価格が低下しており設備の普及促進に懸念があることから、補助制度の見直しが必要であると認識しております。				R2年度も、引き続き太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発、電気自動車リース等の事業を行います。太陽光発電設備等への補助事業については、左記の課題から太陽光発電が自家消費型に移行しつつあり、蓄電池需要増加が予測されることから、新たに補助メニューを提供します。				

生活環境の保全 主管課：環境政策課 関連課：なし

路上喫煙の防止及びまちをきれいにする事業	路上喫煙等を防止し環境美化を推進するため、重点区域のパトロール、クリーンボランティアによる地域清掃を行います。令和2年度より「まちをきれいに志隊事業」と「路上喫煙防止事業」を統合しました。							
担当課	区分	R1当初予算	R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
環境政策課	継続	8,484	7,932	11,212	10,327	494	9,833	
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
路上喫煙等防止指導件数（件）	251	200	-	路上喫煙等防止過料件数（件）		85	104	-
R1年度の取組みと評価 改善点				R2年度の現状 課題 取組み				
重点区域において、早朝や夜間の時間帯にパトロールを実施し、路上喫煙者については、直ちに2,000円の過料を徴収しています。パトロールや広報活動により違反者への指導件数が毎年減少してきており確実な効果が表れています。駅周辺の路上喫煙防止重点区域内では、タバコの吸い殻のポイ捨てが未だ多くみられることから、路面シールや立て看板を増やすことで路上喫煙等の防止の周知を図ります。				市内6箇所の重点区域において、多くの人が集散する時間帯である早朝や夜間のパトロールにより取り締まりを実施します。流山セントラルパーク駅前と江戸川台駅東口駅前の灰皿を撤去した後に喫煙者のポイ捨ての増えることが予想されます。上記の2駅のパトロールを重点的に実施します。				

主管部局 環境部

施策の目的

ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	単位	目指す方向
1人1日当たりのごみ発生量	ごみ処理量の推移（クリーンセンター）	848	861	g	↓
資源化率	ごみ処理量の推移（クリーンセンター）	21.8	24.0	%	↑

令和元年度の実績と評価 改善点	令和2年度の実績 課題 取組み
<p>一般廃棄物を衛生かつ適正処理するため、ごみ分別の啓発やごみ収集業者への指導、処理施設の運転及び整備、資源化の見直し等を行います。</p> <p>市民へのごみ出前講座や事業者へのごみ排出アンケートの実施や、ごみ収集業者への研修・講習会等の開催及び処理施設の安定稼働、計画的な整備及び延命化の策定を実施しました。また、森のまちエコセンターの剪定枝資源化（エコ堆肥）を再開し、10月から月2回のペースで無料配布を行いました。</p> <p>ごみ分別による減量や資源ごみのリサイクルへの推進をこれまで以上啓発していきます。廃棄物処理施設の性能維持は、適正な整備や修繕を実施し、適正な処理を安定的に実施していきます。</p>	<p>ごみの減量の推進や資源化の推進を進めるため、自治会ごとに出前講座を積極的に実施することやごみ分別アプリを取り入れ、一般廃棄物処理基本計画の1人1日当たりのごみ発生量の目標値の達成を目指します。</p> <p>廃棄物処理施設の運営は、適正な定期整備を実施し、安定的な施設稼働に努めます。また、ごみ焼却施設の長寿命化については、交付金を活用し、長寿命化総合計画の策定をします。</p> <p>森のまちエコセンターにおける剪定枝資源化は、安定的なエコ堆肥の生成を行い、安定的なエコ堆肥の配付に努めます。</p>

ごみの減量化・資源化の推進 主管課：クリーンセンター 関連課：なし

ごみ減量・資源化事業	市民・事業者に対して、ごみ減量及び資源化の啓発を行います。廃棄物減量等推進員の委嘱、ごみ分別促進アプリの導入、食品ロス削減の先進地視察及び事業系排出者へのアンケートを実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
クリーンセンター	継続	455		454	9,818	668	0	668
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
ガレージセール実施回数（回）	3	4	4	1人1日当たりのごみ発生量（g/1人・日）		848	861	801
ごみ出前講座回数（回）	1	3	2	資源化率（%）		22	24	22
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
<p>廃棄物減量等推進員への委嘱後、会議や施設見学会を実施しました。また、事業系排出者へのアンケートについては、食品ロスについての設問を設け、削減への研究を実施しました。</p> <p>廃棄物減量等推進員との会議や施設見学会については、ごみについての理解を深めたとともに、意見や要望等も拝聴できました。</p> <p>廃棄物減量等推進員や市民に呼びかけをし、ごみ分別や資源化の説明会や、ごみ出前講座の拡大を図っていきます。</p>				<p>ごみ集積所に排出されるごみ分別等の苦情が増加している状況です。</p> <p>周知等については、ホームページの掲載やパンフレット、ごみカレンダーの配布を行っていますが、さらなる周知が必要と考えます。</p> <p>ごみ分別の周知拡大を図るため、ごみ分別促進アプリの導入を進めます。</p>				

リサイクル推進事業	市民等を対象に、ごみの減量化・資源化を推進します。ごみ減量化促進ポスターコンクールの開催や集団回収を実施する際の活動支援、小学校5校に設置された生ごみ処理機の維持管理、リサイクルプラザ館で各種講座等を開催や再生品の販売を実施します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
クリーンセンター	継続	169,482		121,496	9,153	171,822	1,323	170,499
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
リサイクル団体登録数（団体）	253	254	254	集団回収量（t）		9,202.95	9,007.54	8,555.00
リサイクル講座（教室）開催数（回）	82	70	80	リサイクル講座（教室）の参加者数（人）		978	911	1,000
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
<p>市内小学校4年生児童に、ごみ減量化促進ポスターコンクールを募集・審査・表彰や、市民が参加するリサイクル団体の活動支援を行います。また学校には給食の生ごみを燃やすごみではなく肥料にする生ごみ処理機で減量・資源化を図り、環境教育に役立てます。</p> <p>ごみ減量化促進ポスターコンクールの最優秀作品をポスターにして公共施設等に掲示しました。リサイクル団体へは、報償金及び備品等を支給し、活動支援を行いました。学校に設置してある生ごみ処理機の整備や修繕を実施しました。各種講座は、雑布などの再利用講座など開催や再生自転車や家具を販売し好評を得ています。</p> <p>生ごみ処理機は、機器を設置し10年以上経過しているため部品の供給が無いものがあることや、学校給食の残渣量が減少していることから設置当時の目的は達成できたと考えられるため、給食残渣の利用方法の研究をしていきます。</p>				<p>ごみ減量化促進ポスターコンクールの参加数は微増であり、リサイクル団体の活動指針である資源物の回収量は減少しています。学校に設置してある生ごみ処理機は老朽化が進み、修繕が多くなり、各種講座等においても参加人数が減少しています。</p> <p>ごみ減量化促進ポスターコンクール参加の拡大、リサイクル団体への参加をしていない市民への資源物回収制度の浸透、生ごみ処理機の老朽化に伴う処理方式の検討が必要で、各種講座等についても、老若男女問わず参加できるような創意工夫が必要と考えます。</p> <p>ごみ減量化促進ポスターコンクールは中学生参加を視野に入れた検討を行い、再生資源物の回収方法等について研究します。生ごみ処理機は、食育の育成により生ごみが減少しつつあることから、学校担当者や連携し、給食残渣の新たな資源化に向け研究します。各種講座等については、他のイベントとの同時開催することや、新たな講師による講座を展開できるように研究します。</p>				

リサイクル館施設整備事業	リサイクル館は、経年劣化による損傷が進んでいることから、機器類の性能を維持するため、機器の状態を確認し、優先順位を整理し施設修繕を行います。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源
クリーンセンター	継続	13,000		12,875	3,296	35,200	0	35,200
主な活動指標	H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
修繕費（千円）	0	12,875	35,200	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数（件）		0	0	0
R1年度の実績と評価 改善点				R2年度の実績 課題 取組み				
<p>(取り組み) 経年劣化が進んでいる無停電電源装置や非常用発電機の電源の更新を実施し、適正な廃棄物処理、設備性能の維持に関する整備を実施しました。</p> <p>(評価) 非常用発電機における起動電源の更新を実施し、非常時における施設の安全を確保しました。</p> <p>(改善点) リサイクル館の設備は、経年劣化による損傷が所が多々発見されているため、現状状態を見極め、計画的な整備を実施していきたい。</p>				<p>経年劣化による損傷が大きい設備の修繕を実施し、適正な処理の継続を実施し、施設の安定稼働に努めます。</p>				

主管部局 環境部

施策の目的

ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



一般廃棄物の適正処理

主管課：クリーンセンター

関連課：なし

廃棄物処理施設整備等基金積立事業		流山市廃棄物処理施設整備等基金条例に基づき、施設の建設や大規模修繕等に必要な資金を計画的に積立て、建設整備費用や起債償還額に含まれる一般財源の額を低減させます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
クリーンセンター	継続	2,913		107,394	3,296	1,913	1,912	1	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
基金積立額(千円)		204,681	107,394	1,913	基金額(千円)		334,937	442,332	444,245
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(取組み) 一般廃棄物ごみ焼却施設の長寿命化に伴う改築、改修等に必要の財源を計画的に積立てます。令和1年度の積立て予定の1億円は、平成30年度補正予算で積立てました。 (評価) 令和1年度の積立予定額は、前年度に積立てしました。 (改善点) 基金積立の目標額は、今後の長寿命化総合計画策定の中で定め、計画的に積立てます。					ごみ焼却施設の長寿命化整備に係る目標額は、長寿命化総合計画の策定を行い、必要な額を計画的に積み立てます。				

ごみ焼却施設整備事業		ごみ焼却施設の安全操業、適正な廃棄物処理を実施するため、関係法令に基づく点検整備を実施し、施設の性能を維持します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
クリーンセンター	継続	450,000		560,491	7,252	400,000	0	400,000	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
修繕費用(千円)		505,093	560,491	400,000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)		0	0	0
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(取組み) ごみ焼却施設は、廃棄物処理法、電気事業法及び労働安全衛生法などに基づく整備を適正に実施するが、その中でも令和1年度は電気事業法に基づくタービン・発電機の開放点検整備及び受検に当たる整備を実施しました。 (評価) 各設備などの整備を実施し、適正な施設の性能を維持しました。 (改善点) 今後実施される施設の長寿命化に関する整備内容と、関係法令に基づく定期整備内容などの整合を図り、適正な定期整備を実施します。					ごみ焼却施設の定期整備の内容は、機器の状態を慎重に見極め、今後の長寿命化整備との調整を図り、関係法令に基づく整備を遵守し実施します。				

クリーンセンター放射能対策事業		国が設置する長期保管施設へ移すまでの間、国に代わって指定廃棄物を安全に一時保管します。また、焼却灰や排ガス等に含まれる放射性物質のモニタリング測定を継続し安全を確保します。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
クリーンセンター	継続	7,425		4,248	10,548	2,137	2,137	0	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
焼却灰等の放射能濃度測定回数(回)		72	75	72	指定廃棄物(溶融飛灰)の一時保管量(トン)		582	582	0
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(取組み) 指定廃棄物の焼却灰は、国が設置する長期保管施設が設置されるまでの間、安全に一時保管していきます。一時保管施設の周辺の放射線量は、定期的に測定し、安全を確認します。また、一般廃棄物の処理に伴い、焼却灰や排ガスなどに含まれる放射能濃度測定を定期的実施していきます。 (評価) 安定的に廃棄物処理を継続するため、定期的に各種の測定を実施し、安全を確保できました。 (改善点) これからも継続的に廃棄物処理を実施するため、定期的に測定を実施し、安全を確保します。					指定廃棄物の長期保管施設の設置について、国へ継続的の要望していきます。また、焼却灰や排ガス中に含まれる放射性物質の測定を定期的実施し、安全を確認しつつ適正なごみ処理に努めます。 また、一時保管施設の安全を継続的に確保するため、必要に応じ、国と協議して行きます。				

廃棄物処理施設延命化事業		ごみ焼却施設及びリサイクル館は、機器の運営環境が劣悪の中で稼働しているため、施設の延命化に関する総合計画を策定し実施することで、施設の性能を維持し適正処理を継続することにより、社会生活環境の維持に努めます。							
担当課	区分	R1当初予算		R1決算見込	R1職員給与費(目安)	R2当初予算	R2特定財源	R2一般財源	
クリーンセンター	新規	0		0	17,533	12,500	4,166	8,334	
主な活動指標		H30実績	R1実績	R2目標	主な成果指標		H30実績	R1実績	R2目標
長寿命化総合計画策定の進捗状況(%)		0	0	100	CO2排出量の削減率(%)		0	0	5
R1年度の取組みと評価_改善点					R2年度の現状_課題_取組み				
(取組み) ごみ焼却施設の整備方式の検討に当たっては、国の手引きに基づき、既存施設の延命化整備や新規施設の建設などのライフサイクルコスト(LCC)の比較検討し、市の方針について市議会へ報告しました。また、リサイクル館の整備については、機器の状態を見極め、年度ごとの整備を実施することとしました。 (評価) ごみ焼却施設の整備方式を定めることができたため、次年度からの計画策定などを進めます。また、リサイクル館の整備内容は、運転管理業務委託を受託している業者からの報告書などを参考にして、機器類の状態を確認し整備することとしました。 (改善点) ごみ焼却施設の整備内容に、あらたに施設の強靱化策を加えることとなったため、早々に対応策について検討します。					ごみ焼却施設の長寿命化に関する交付金申請を年度当初に行います。内示後、直ちに長寿命化総合計画などの策定業務委託について、入札で受託者を選考します。また、リサイクル館の整備は、現状を再度確認し、適正な整備を実施します。				